

重点施策の検討

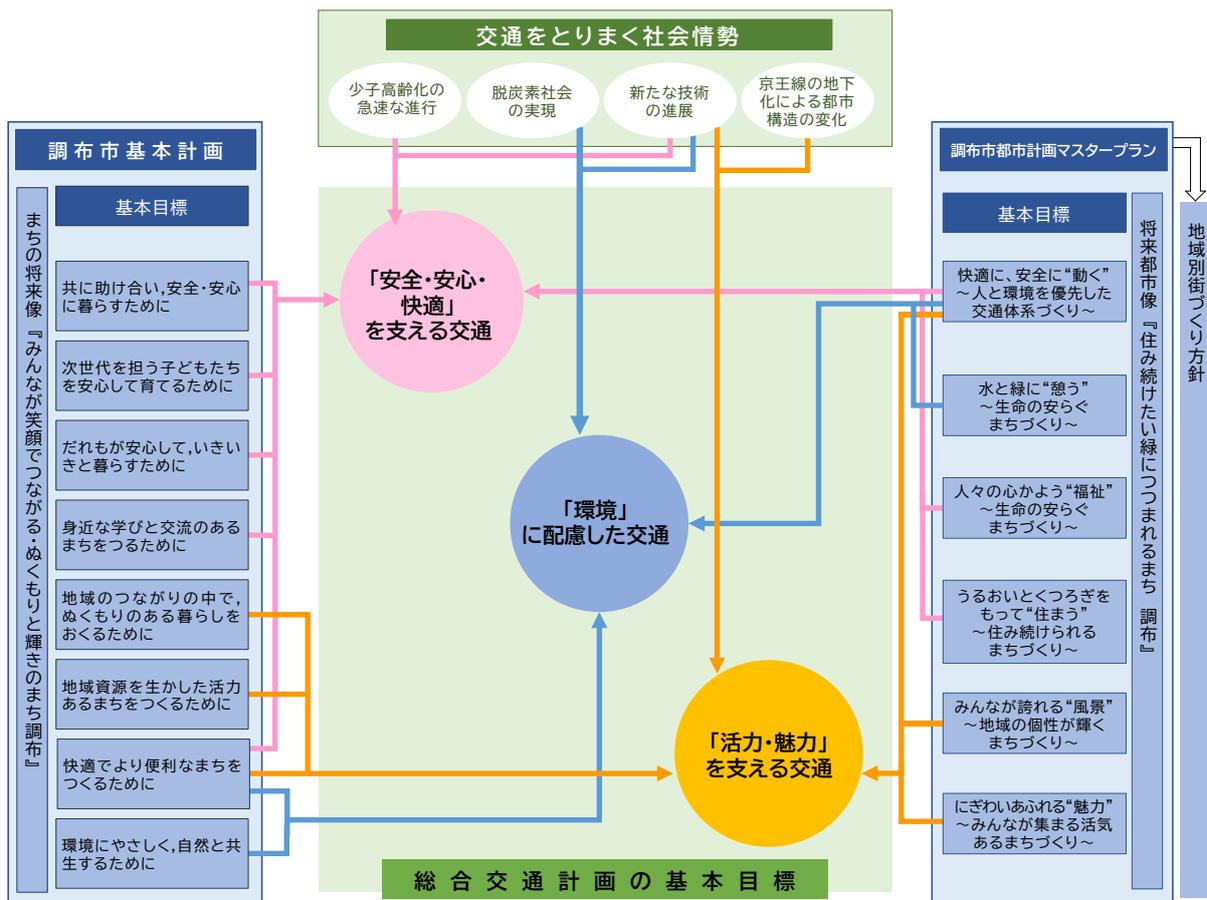
1. 重点施策設定の考え方

計画において、重点的に取り組むべき施策を「重点施策」として定めることを検討しています。重点施策は、社会情勢等の変化を踏まえ、「令和12年までに実施すべき施策」又は「令和12年以降を見越して現時点で検討すべき施策」として整理することを想定しています。

重点施策は、特に重要な課題への対応や目標達成に向けて分野横断により取り組むべき施策であり、現時点からの戦略的な取組みが求められる施策として設定することを想定しています。

また、設定に当たり、可能な限り具体的な内容を記載できる施策で、計画目標との関係性をみて整理するものと考えます。

なお、他の計画に記載されている施策は、当該計画に基づき実施されることを踏まえ、主として対象にしないことと考えます。



■ 参考 ■ 基本方針の内容

(1) 「安全・安心・快適」を支える交通

安全に安心してくらす社会を構築するためには、高齢化の進行に伴い増加すると想定される移動制約者や子どもなどだれもが移動しやすい交通環境を整備することが不可欠となっています。

移動制約者の重要な交通手段であるバスなどの公共交通網の整備や最も身近な交通手段である徒歩や自転車の通行環境の整備を通して、安全かつ住み続けられるまちづくりを目指します。

また、だれもが快適に移動できる環境をつくることで移動が活発化になり、まちの活性化を支えます。

(2) 「環境」に配慮した交通

これまで以上に地球温暖化問題への対応が求められる中、調布市と調布市議会は令和3年4月16日にゼロカーボンシティ宣言を共同で行い、国・東京都と連携し、市民や事業者等の多様な主体と力を合わせて脱炭素社会の実現に向けて取り組むこととしています。

まちづくり・交通の分野においても、車の使い方の改革や電動化、公共交通への新たな技術の導入、物流の効率化・低炭素化等が求められ、効率的かつ効果的な道路ネットワークの整備による自動車交通の円滑化と公共交通利用のさらなる促進を図るとともに、短距離の移動での徒歩・自転車利用を促進するなど、公共交通や徒歩、自転車が利用しやすいまちづくりの推進に取り組みます。

(3) 「活力・魅力」を支える交通（中心市街地の活性化）

中心市街地の活性化や深大寺などの観光地の魅力を生かすため、まちづくりと連動しながら、中心市街地や駅周辺商業地域への交通の円滑化、中心市街地内での回遊性の向上を図ることが求められています。

また、市外からの来訪者にも利用しやすい交通体系を構築し、調布市の活力・魅力の向上に寄与していく必要があります。

総合交通計画では、公共交通網や効率的な道路網の整備により中心市街地へのアクセス利便性の向上を図り、まちの活力を支えます。

また、ウォーカブルな人中心の空間整備など、居心地がよく歩いて楽しめるまちづくりを進めることで、中心市街地の魅力向上を図ります。

2. 重点施策の内容案

計画の目標を基に、重点施策として掲載することを想定する事項を次のページに整理しました。

計画目標	基本方針	設定の視点	重点施策	記載内容の想定
(1) 「安全・安心・快適」を支える交通	基本方針1 便利で快適な交通環境の確保	公共交通を中心としたネットワークにより交通不便地域を解消する 交通機関同士の結節性を向上しシームレスな移動を促進する	誰もが快適に移動できる交通ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道・バスによるネットワーク図とそれを補完する地域交通のエリアの図 ・路線バスとその他の公共交通，シェアサイクル等の乗り継ぎ向上に向けた検討実施 ・高齢者や交通弱者の移動利便性向上に向けた駅等における乗り継ぎ利便性の向上，移動支援策の充実 等
	基本方針3 適切に機能分担された快適な道路整備			
	基本方針4 安全・安心に移動できる環境の整備			
(2) 「環境」に配慮した交通	基本方針2 環境負荷の低い公共交通等の環境整備	公共交通の利用を促進するとともに， 環境負荷の少ない車両の導入を促進	環境負荷の少ない移動の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通と自動車の環境負荷の違いの比較，それによる環境負荷軽減の可能性 ・充填ステーションの設置等の方向性 ・環境負荷の少ないゼロエミッションビークル等の公共交通や公用車への導入方針 等
	基本方針5 活力・魅力を支える中心市街地・拠点の形成			
(3) 「活力・魅力」を支える交通（中心市街地の活性化）	基本方針5 活力・魅力を支える中心市街地・拠点の形成	調布市の交通における最も必要な拠点である駅周辺について， 混雑を緩和し快適な回遊を促進する	駅周辺の交通円滑化と賑わいの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・調布駅周辺の歩行者動線・駅前広場動線等の計画内容の紹介 ・交通結節点及びその周辺での賑わいの向上に向けた施策 ・駅周辺や駅間のウォークアビリティ向上に向けた施策 等

重点施策について

重点施策の設定に向けて、各目標に対して以下のような視点が必要と考えています。

【目標1】「安全・安心・快適」を支える交通の達成に向けて

- ・公共交通ネットワークの機能強化による公共交通の利用促進が重要
- ・公共交通ネットワークの機能強化には、まちづくりとの連携により、現状の課題である公共交通不便地区への対応と、公共交通ネットワークの要である調布駅の結節機能のさらなる強化が不可欠
- ・福祉交通との連携強化により、選択性が高く、シームレスな交通体系を確立していく

※まちづくり、福祉政策との連携

【目標2】「環境」に配慮した交通の達成に向けて

- ・目標（1）による公共交通の利用促進とともに、環境政策との連携によりゼロエミッションビークル化に必要な環境を早期に整えていくことが必要
- ・特に、多くの交通が集中する調布駅周辺のまちづくりやエネルギー政策との連携による取組みから重点的に進めていく

※まちづくり、環境政策との連携

【目標3】「活力・魅力」を支える交通（中心市街地の活性化）の達成に向けて

- ・調布市の中心拠点である調布駅周辺の賑わい強化を図ることが、調布市全体の活力アップ、魅力向上のためには不可欠
- ・そのため、調布駅周辺に集中あるいは通過する交通のコントロール、誰もが利用しやすい交通結節点としての機能の強化、連立による効果をさらに活かす歩行者中心のまちづくりの促進を進めていく

※まちづくり、道路政策、福祉政策との連携